

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号 0760010 001

【1.基本情報】

事業名	ぎふ信長まつり				
担当部名	経済部		担当課名	経済政策課	
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	ぎふ信長まつり実行委員会
実施期間	昭和32 年度～	年度	根拠法令・関連計画	3期中心市街地活性化基本計画 岐阜市産業振興ビジョン	

【2.事業概要】

事業の目的		中心市街地である柳ヶ瀬・神田町一帯の商店街ににぎわいを呼び戻すには人が集うためのイベント(まつり)は必要不可欠である。また、「織田信長公」ゆかりの地である岐阜市のPRにもつながる。
事業の内容		にぎわいを生み出すイベント(まつり)
事業 の 対 象	何を	各種イベント(まつり)の実施
	誰に	市民
	どのくらい	10月の第一土曜日と翌日曜日の2日間(令和4年度は11月の第一土曜日と翌日曜日の2日間)
令和3年度 (実施内容)		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。 オンライン上で情報発信を行う基幹コンテンツとして、広くまつりの魅力を発信し、集客につなげるため、公式ホームページを制作。

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,080	120	650	20	1,615	50
パートタイム会計年度任用職員(旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員(臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	4,080	120	650	20	1,615	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		10,900	0	689
直接事業費の主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金	10,900	0	689
減価償却費【施設管理】(C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		10,900	0	689

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	14,980	650	2,304

【4.収入】

収入内訳	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
	14,980	650	2,304

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	340,000	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	44		

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催日数		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2	2	2	
実績値	2	0	0	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観客数		単位	万人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	35	35	35	
実績値	34	0	0	
達成状況	×（未達成）		—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	中心市街地である柳ヶ瀬、神田町一帯の商店街で大型店舗の撤退等、空き店舗の増加のため通行量が減少し、空洞化現象が起こっている。賑わいを呼び戻すため、集客力のあるイベントの開催が重要である。 地域のまつりであり、行政・民間(商工会議所、商店街など)・市民(協賛事業実施主体)との協働のもと、行われている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	中心市街地各所で、様々な主催事業や協賛事業が開催され、多くの人出が見込まれる。イベントや交通警備等に要するコストは増えつつあるが、一定の効果は得られている。 行政・民間・市民との協働のもと行われており、他の民間組織等が現状の市の役割を担うことは困難と考えられる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	2日間で約35万人の人出が見込まれる一大イベントであり、中心市街地に賑わいがもたらされ、消費の拡大にも寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	まつりの実施によるにぎわい創出であり、実施主体の負担により行うことが妥当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	様々なイベントがある中で、秋のぎふ信長まつりと、春の道三まつりが、人出をはじめとした規模で群を抜いている。また、開始から既に60回以上を数え、市民にも定着している。令和4年度は農業振興を目的とする「岐阜市農業まつり」と共同開催し、各々の集客力を生かし、相乗効果を図る。今後、ポストコロナの時代に適合した、持続可能なぎふ信長まつりの運営について、検討の余地がある。

事業評価シート(R3年度事業評価用)

番号	0760010	002
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	岐阜まつり協賛「道三まつり」				
担当部名	経済部		担当課名	経済政策課	
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	道三まつり実行委員会
実施期間	昭和48 年度～	年度	根拠法令・関連計画	3期中心市街地活性化基本計画 岐阜市産業振興ビジョン	

【2.事業概要】

事業の目的		中心市街地である柳ヶ瀬・神田町一帯の商店街ににぎわいを呼び戻すには人が集うためのイベント(まつり)は必要不可欠である。また、「斎藤道三公」ゆかりの地である岐阜市のPRにもつながる。			
事業の内容		にぎわいを生み出すイベント(まつり)			
事業の 対象	何を	各種イベント(まつり)の実施			
	誰に	市民			
	どのくらい	4月の第一土曜日と翌日曜日の2日間			
令和3年度 (実施内容)		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止			

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和元年度決算額		令和2年度決算額		令和3年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,080	120	650	20	646	20
パートタイム会計年度任用職員 (旧嘱託)	0		0		0	
パートタイム会計年度任用職員 (臨時雇用員)	0		0		0	
計(A)	4,080	120	650	20	646	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		3,000	0	0
直接事業費の 主な内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
項目	負担金	3,000	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		3,000	0	0

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		7,080	650	646

【4.収入】

収入内訳		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
国庫支出金				
県支出金				
市債				
使用料・手数料				
その他				
計(F)		0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)		令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)
		7,080	650	646

【6.コストバランス】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	380,000	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	19		

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入（インプット）により産出した活動（サービス））

活動指標名	開催日数		単位	日
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	2	2	2	
実績値	2	0	0	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観客数		単位	万人
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
目標値	35	35	35	
実績値	38	0	0	
達成状況	○（達成）	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由（可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明）
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	中心市街地である柳ヶ瀬、神田町一帯の商店街で大型店舗の撤退等、空き店舗の増加のため通行量が減少し、空洞化現象が起こっている。賑わいを呼び戻すため、集客力のあるイベントの開催が重要である。 地域のまつりであり、行政・民間(商工会議所、商店街など)・市民(協賛事業実施主体)との協働のもと、行われているが、メインのみこしパレードは、運営ノウハウのある民間団体が存在する。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	中心市街地各所で、様々な主催事業や協賛事業が開催され、多くの人出が見込まれる。イベントや交通警備等に要するコストは増えつつあるが、一定の効果は得られている。 行政・民間・市民との協働のもと行われており、他の民間組織等が現状の市の役割を担うことは困難と考えられる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	2日間で約35万人の人出が見込まれる一大イベントであり、中心市街地に賑わいがもたらされ、消費の拡大にも寄与している。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	まつりの実施によるにぎわい創出であり、実施主体の負担により行うことが妥当である。
〔総合評価〕 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	改善 (統合・縮小含む。)	様々なイベントがある中で、春の道三まつりと、秋のぎふ信長まつりが、人出をはじめとした規模で群を抜いている。また、開始から既に40回以上を数え、市民にも定着している。しかし、協賛の岐阜まつりも集客力が高いことや、メインイベントである「みこしパレード」について、運営ノウハウがある民間団体が存在することなどを踏まえ、今後の道三まつりの運営について検討の余地がある。